



平成27年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 フューチャーアーキテクト株式会社
 コード番号 4722 URL <http://www.future.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 東 裕二
 (氏名) 中島 由彦

TEL 03-5740-5724

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	25,788	1.4	3,188	1.1	3,100	5.5	1,743	3.0
26年12月期第3四半期	25,437	16.9	3,225	28.0	3,280	24.6	1,797	12.4

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 1,846百万円 (5.2%) 26年12月期第3四半期 1,754百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年12月期第3四半期	39.02	39.01
26年12月期第3四半期	40.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年12月期第3四半期	21,120	15,455	72.0	340.33
26年12月期	21,702	14,475	65.8	319.80

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 15,214百万円 26年12月期 14,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年12月期		8.00		11.00	19.00
27年12月期		9.50			
27年12月期(予想)				9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年12月期の期末配当金11円の内訳につきましては、普通配当9円、創業25周年記念配当2円になります。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	35,250	2.4	4,800	10.5	4,830	11.7	2,770	24.8	61.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、
税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	47,664,000 株	26年12月期	47,664,000 株
期末自己株式数	27年12月期3Q	2,958,800 株	26年12月期	3,040,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	44,683,856 株	26年12月期3Q	44,623,200 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想数値及び将来に関する記載は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) 受注の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は25,788百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は3,188百万円（同1.1%減）、経常利益は3,100百万円（同5.5%減）、四半期純利益は1,743百万円（同3.0%減）となりました。

各セグメントの業績については以下のとおりです。なお、文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

第1四半期連結会計期間より、当社の顧客向け保守運用サービスが主たる業務となったフューチャーインスペース株式会社をパッケージ&サービス事業からITコンサルティング事業に、電子カルテのクリニック向けクラウドサービスが増加したライフサイエンスコンピューティング株式会社をITコンサルティング事業からパッケージ&サービス事業に、それぞれセグメント変更をしております。前年同期比については、前第3四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の数値に組み替えた上で比較を行っております。

① ITコンサルティング事業

ITシステムの刷新・統合に係る製造業・流通業・サービス業の新規受注が拡大するとともに、金融クラウド（SKYBANK）について複数の顧客を獲得したほか、ネット証券や流通業・サービス業の顧客を獲得することに成功しました。また、プロジェクトにおける活動や成果物をすべてデータベース化し、プロジェクト進捗のモニタリングと成果物の品質チェックを自動化するプロジェクト運営手法（fraqta）の全社展開を進めたことや外注費のコントロールによりプロジェクトの利益率は向上しました。しかしながら、幾つかの既存プロジェクトの終了と新規プロジェクト立ち上げの端境期にあたったことにより、受注は好調だったものの、第3四半期（累計）の売上高、営業利益は減少しました。

東南アジアビジネスについては、シンガポールやタイの子会社で売上高・営業利益とも減少しましたが、マレーシア子会社が好調であったため、東南アジア子会社合計では第3半期連結累計期間は前年同期比で売上高は減少したものの、営業利益では改善しました。

この結果、売上高は15,575百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は2,975百万円（同1.9%減）となりました。

② パッケージ&サービス事業

FutureOne株式会社は、昨年10月に旧株式会社アセンディアの一部事業を会社分割で承継し、当連結会計期間はその統合を進めたことにより、両社を合算したベースで前年同期と比較して、売上高は減少しましたが、営業利益率が向上し、営業利益は増加しました。

第1四半期連結会計期間から連結寄与している株式会社マイクロ・シー・イー・デーは、自社製の総合的財産管理システムの販売が貢献し、売上高・利益ともにほぼ計画通りに推移しました。

この結果、売上高は3,118百万円（前年同期比7.5%増）、株式会社マイクロ・シー・イー・デーののれん償却額を反映した営業利益は216百万円（同30.9%増）となりました。

③ ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、スポーツ・アウトドア・フィットネス用品のネット販売が順調に推移し、PB商品が売上高に占める割合も増えたため、前年同期比で売上高は増加しましたが、ポイント競争の激化などにより営業利益率は低下しました。

東京カレンダー株式会社は、1月に新たにオープンしたウェブやスマホ用サイトが9月に月間ページビューで630万まで増加しており、ウェブ・スマホ広告売上を計上するなどウェブサービスを収益に繋げる仕組みの構築が進捗しておりますが、現段階ではまだ営業損失が続いております。

この結果、売上高は3,719百万円（前年同期比15.1%増）、株式会社eSPORTSののれん償却額を反映した営業損失は60百万円（前年同期は14百万円の利益）となりました。

④ 企業活性化事業

食品スーパーを営む株式会社魚栄商店においては、ITを利活用して、個々の店舗の商品毎の売上高や在庫量のデータを商品仕入れに反映し、商品在庫の適切なコントロールすることで、売上高の増加や粗利率の改善を図りました。

この結果、売上高は3,400百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は16百万円（前年同期は16百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は21,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ582百万円減少いたしました。その主な要因は、のれん(前連結会計年度末比+157百万円)や投資有価証券(前連結会計年度末比+364百万円)が増加しましたが、現金及び預金(前連結会計年度末比△351百万円)や受取手形及び売掛金(前連結会計年度末比△781百万円)が減少したこと等によるものであります。

また、負債は5,664百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,562百万円減少いたしました。その主な要因は、未払金(前連結会計年度末比△443百万円)や未払法人税等(前連結会計年度末比△757百万円)が減少したこと等によるものであります。

なお、純資産は15,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ979百万円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金(前連結会計年度末比+828百万円)が増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を3,125百万円計上しましたが、法人税等の支払額2,047百万円等により、1,465百万円の収入(前年同期は1,889百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出248百万円や投資有価証券の取得による支出348百万円等により、764百万円の支出(前年同期は237百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額900百万円等により、925百万円の支出(前年同期は708百万円の支出)となりました。

これら営業活動、投資活動、財務活動等の結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ287百万円減少し、8,327百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期通期の業績予想につきましては、前回発表(平成27年7月29日付)の業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,552,995	8,201,875
受取手形及び売掛金	5,006,460	4,224,922
有価証券	103,746	127,490
商品及び製品	589,260	612,664
仕掛品	208,181	95,727
繰延税金資産	272,660	273,550
未収入金	1,394,410	1,352,399
その他	539,911	687,345
貸倒引当金	△4,990	△5,123
流動資産合計	16,662,635	15,570,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,317,003	3,352,283
減価償却累計額	△2,837,256	△2,886,531
建物及び構築物（純額）	479,747	465,752
土地	109,474	109,474
その他	2,063,596	2,139,940
減価償却累計額	△1,702,187	△1,798,457
その他（純額）	361,408	341,482
有形固定資産合計	950,630	916,709
無形固定資産		
のれん	897,211	1,055,025
ソフトウェア	538,416	488,135
その他	20,687	23,279
無形固定資産合計	1,456,315	1,566,440
投資その他の資産		
投資有価証券	1,494,041	1,858,253
敷金及び保証金	1,022,797	1,034,626
繰延税金資産	106,489	105,881
その他	59,021	115,556
貸倒引当金	△49,286	△48,180
投資その他の資産合計	2,633,063	3,066,138
固定資産合計	5,040,009	5,549,288
資産合計	21,702,644	21,120,140

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,404,017	1,146,426
1年内返済予定の長期借入金	—	4,800
未払金	1,049,765	605,853
未払法人税等	1,361,648	603,948
賞与引当金	214,506	207,990
品質保証引当金	195,452	89,820
プロジェクト損失引当金	78,500	47,699
ポイント引当金	13,474	22,909
その他	1,483,164	1,484,625
流動負債合計	5,800,529	4,214,074
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,014,400
資産除去債務	405,181	410,036
その他	21,192	26,063
固定負債合計	1,426,373	1,450,500
負債合計	7,226,902	5,664,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,421,815	1,421,815
資本剰余金	2,495,772	2,507,763
利益剰余金	12,012,633	12,840,688
自己株式	△1,540,983	△1,499,428
株主資本合計	14,389,237	15,270,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,168	39,792
為替換算調整勘定	△153,008	△95,939
その他の包括利益累計額合計	△118,839	△56,147
少数株主持分	205,344	240,874
純資産合計	14,475,742	15,455,565
負債純資産合計	21,702,644	21,120,140

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年9月30日）
売上高	25,437,230	25,788,678
売上原価	16,440,709	16,089,704
売上総利益	8,996,521	9,698,973
販売費及び一般管理費		
役員報酬	236,541	269,230
給料及び賞与	2,432,867	2,686,951
研修費	119,506	188,350
研究開発費	105,385	119,870
減価償却費	78,290	74,910
採用費	225,307	209,634
その他	2,573,289	2,961,099
販売費及び一般管理費合計	5,771,189	6,510,048
営業利益	3,225,331	3,188,924
営業外収益		
受取利息	2,848	2,748
受取配当金	26,153	30,958
持分法による投資利益	—	4,922
為替差益	34,507	—
その他	16,528	11,773
営業外収益合計	80,038	50,403
営業外費用		
支払利息	7,202	7,596
持分法による投資損失	15,815	—
為替差損	—	101,663
寄付金	—	30,000
その他	2,004	—
営業外費用合計	25,021	139,259
経常利益	3,280,348	3,100,069
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35,063
関係会社株式売却益	2,493	—
特別利益合計	2,493	35,063
特別損失		
投資有価証券売却損	2,400	—
持分変動損失	—	9,343
特別損失合計	2,400	9,343
税金等調整前四半期純利益	3,280,441	3,125,789

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）
法人税等	1,455,181	1,320,371
少数株主損益調整前四半期純利益	1,825,259	1,805,417
少数株主利益	28,169	61,808
四半期純利益	1,797,090	1,743,609
少数株主利益	28,169	61,808
少数株主損益調整前四半期純利益	1,825,259	1,805,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,534	5,957
為替換算調整勘定	△22,857	38,303
持分法適用会社に対する持分相当額	1,278	△3,658
その他の包括利益合計	△71,113	40,602
四半期包括利益	1,754,146	1,846,020
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,723,782	1,810,377
少数株主に係る四半期包括利益	30,363	35,642

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,280,441	3,125,789
減価償却費	308,569	299,934
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9,051	15,184
賞与引当金の増減額（△は減少）	93,905	1,725
品質保証引当金の増減額（△は減少）	23,395	△105,632
プロジェクト損失引当金の増減額（△は減少）	△76,100	△30,496
受取利息及び受取配当金	△29,002	△33,706
支払利息	7,202	7,596
持分変動損益（△は益）	—	9,343
持分法による投資損益（△は益）	15,815	△4,922
投資有価証券売却損益（△は益）	2,400	△35,063
関係会社株式売却損益（△は益）	△2,493	—
売上債権の増減額（△は増加）	△93,784	743,704
たな卸資産の増減額（△は増加）	△169,483	89,489
仕入債務の増減額（△は減少）	△337,052	△239,530
その他	602,853	△325,932
小計	3,617,614	3,517,482
利息及び配当金の受取額	28,809	33,815
利息の支払額	△7,202	△7,596
法人税等の支払額	△1,749,351	△2,047,840
寄付金の支払額	—	△30,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,889,870	1,465,862

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	40,325
有形固定資産の取得による支出	△123,149	△116,362
無形固定資産の取得による支出	△35,443	△81,913
資産除去債務の履行による支出	—	△5,426
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△248,571
関係会社株式の取得による支出	—	△10,255
関係会社株式の売却による収入	25,000	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△19,000
投資有価証券の取得による支出	△9,939	△348,373
投資有価証券の売却による収入	9,600	49,610
敷金及び保証金の差入による支出	△108,470	△16,899
敷金及び保証金の回収による収入	1,316	13,129
その他	3,940	△20,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237,145	△764,194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5,000	—
自己株式の売却による収入	—	53,546
配当金の支払額	△703,048	△900,625
少数株主への配当金の支払額	—	△78,411
財務活動によるキャッシュ・フロー	△708,048	△925,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,530	△63,232
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	953,206	△287,054
現金及び現金同等物の期首残高	6,892,975	8,614,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,846,182	8,327,565

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	ITコン サルティ ング事業	パッケー ジ&サー ビス事業	ニューメ ディア& ウェブサ ービス事 業	企業活性 化事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,924,740	2,899,918	3,227,398	3,385,172	25,437,230	—	25,437,230	—	25,437,230
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,568	679	2,782	2,621	10,650	—	10,650	△10,650	—
計	15,929,308	2,900,598	3,230,180	3,387,793	25,447,881	—	25,447,881	△10,650	25,437,230
セグメント利益 又は損失(△)	3,033,219	165,381	14,527	△16,113	3,197,014	905	3,197,920	27,411	3,225,331

（注1） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

（注2） セグメント利益又は損失(△)の調整額27,411千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

（注3） セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	ITコン サルティ ング事業	パッケー ジ&サー ビス事業	ニューメ ディア& ウェブサ ービス事 業	企業活性 化事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,565,061	3,108,398	3,718,785	3,396,431	25,788,678	—	25,788,678	—	25,788,678
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10,120	9,926	576	4,485	25,107	—	25,107	△25,107	—
計	15,575,181	3,118,325	3,719,362	3,400,916	25,813,786	—	25,813,786	△25,107	25,788,678
セグメント利益 又は損失(△)	2,975,091	216,490	△60,596	16,757	3,147,742	1,749	3,149,491	39,433	3,188,924

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額39,433千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更等)

前第3四半期連結累計期間において、フューチャーインスペース株式会社の事業を「パッケージ&サービス事業」で集計しておりましたが、第1四半期連結会計期間からは当社の顧客向け保守運用サービスが主たる業務となったため、第1四半期連結会計期間より「ITコンサルティング事業」に区分を変更しております。

また、前第3四半期連結累計期間において、ライフサイエンスコンピューティング株式会社の事業を「ITコンサルティング事業」で集計しておりましたが、電子カルテのクリニック向けクラウドサービスが増加したため、第1四半期連結会計期間より「パッケージ&サービス事業」に区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

(1) 受注の状況

(単位：千円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング事業	15,556,324	6,574,937	17,664,891	8,264,498
パッケージ&サービス事業	3,025,332	1,179,159	3,110,554	1,150,254
ニューメディア&ウェブサービス事業	218,274	23,696	218,210	74,175
合計	18,799,931	7,777,793	20,993,656	9,488,928

(注1) 第1四半期連結累計期間においてセグメントの変更を行っており、前第3四半期累計期間の金額は、変更後の報告セグメントの区分に組み替えて集計しております。

(注2) 受注高には為替レート変動に伴う金額調整分を含めております。